

令和3年度
朝霞『未来・夢』子ども議会
会 議 録

令和3年10月23日（土） 開会

令和3年10月23日（土） 閉会

朝 霞 市

朝霞市教育委員会

朝霞 ‘未来・夢’ 子ども議会



令和3年度
朝霞市子ども議会
(オンライン)



むさし フロント ぬさか





富岡勝則市長



石原茂市議会議長



二見隆久教育長



神田直人副市長



一般質問の様子①（オンライン画面）



一般質問の様子②（オンライン画面）



子ども“未来・夢”宣言の様子（オンライン画面）



当日の議場の様子



閉会時の様子（オンライン画面）

令和3年度「朝霞“未来・夢”子ども議会」会議録 目次

議事日程	1
出席議員	1
説明のため出席した人	2
朝霞市議会から出席した人	2
本会議等に参加した事務局職員	2
開会及び開議の宣告	3
会期の決定について	3
市長あいさつ	3
市議会議長あいさつ	4
一般質問	5
議事進行【金子未咲希議長 高橋紗永副議長】	
五百川 燎 優 議員	5
相 澤 陽 人 議員	7
南 緋 朗 議員	8
井 上 稀 衣 議員	9
中 村 匠 汰 議員	11
松 村 直 歩 議員	13
曾根高 楓 議員	14
議事進行【横山晃翔議長 齊藤大也副議長】	
安 達 心 咲 議員	16
栗 原 愛 奈 議員	17
大 縄 晟 大 議員	18
榎 美 雲 議員	20
丹 野 咲 良 議員	22
中 野 栞 議員	23
子ども“未来・夢”宣言	25

閉会の宣告..... 26

参考資料

子ども“未来・夢”宣言..... 30

質問通告事項一覧表..... 31

令和3年度「朝霞“未来・夢”子ども議会」

議事日程

令和3年10月23日（土曜日）午後2時開会

- 開会及び開議の宣告 子ども（小学生）議長
- 第1 会期の決定について
- 第2 市長あいさつ
市議会議長あいさつ
- 第3 一般質問 子ども議員
- 第4 子ども“未来・夢”宣言 子ども（小学生）正副議長
子ども（中学生）副議長
- 閉会の宣告 子ども（中学生）議長

* 議事進行 前半：小学生正副議長 後半：中学生正副議長

出席議員（17名）

朝霞第一小学校	6年	高橋	紗永	議員	6年	五百川	燎優	議員
朝霞第二小学校	6年	金子	未咲希	議員	6年	相澤	陽人	議員
朝霞第三小学校	6年	南	緋朗	議員				
朝霞第四小学校	6年	井上	稀衣	議員				
朝霞第五小学校	6年	中村	匠汰	議員				
朝霞第六小学校	6年	松村	直歩	議員				
朝霞第七小学校	6年	曾根	高楓	議員				
朝霞第八小学校	6年	安達	心咲	議員				
朝霞第九小学校	6年	栗原	愛奈	議員				
朝霞第十小学校	6年	大縄	晟大	議員				
朝霞第一中学校	3年	横山	晃翔	議員				
朝霞第二中学校	3年	齊藤	大也	議員				
朝霞第三中学校	3年	榎	美雲	議員				
朝霞第四中学校	3年	丹野	咲良	議員				
朝霞第五中学校	3年	中野	栞	議員				

説明のため出席した人

富岡勝則	市長	神田直人	副市長
二見隆久	教育長		
宮村徹	市長公室長	金子二郎	学校教育部長

朝霞市議会から出席した人

石原茂 市議会議長

本会議等に参加した事務局職員

・政策企画課

江原秀太 政策企画係主任

・シティ・プロモーション課

片岡直人 広報係主事

・市政情報課

河田賢一	課長	細田啓行	市政情報係長
------	----	------	--------

小曾根由香	市政情報係主任	百瀬桂太郎	広聴統計係長
-------	---------	-------	--------

宇都木幸乃	広聴統計係主任	手嶋貴一	広聴統計係主任
-------	---------	------	---------

・こども未来課

金子幸一 こども未来係長

・教育指導課

松本欣巳	課長	横山三楽	指導主事
------	----	------	------

◎開会及び開議の宣告

○金子未咲希議長 皆さん、こんにちは。

ただいまから、「朝霞“未来・夢”子ども議会」を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

(午後2時)

○金子未咲希議長 本日の子ども議会の小学生議長を務めさせていただきます、朝霞第二小学校6年の金子未咲希です。

○高橋紗永副議長 同じく、副議長を務めさせていただきます、朝霞第一小学校6年の高橋紗永です。

○金子未咲希議長 皆さん、議事進行にご協力をよろしくお願いします。

なお、本日の日程は、お手元に配付した議事日程のとおりです。

◎会期の決定について

○金子未咲希議長 日程第1、会期の決定を議題とします。

皆さんに申し上げます。

「朝霞“未来・夢”子ども議会」の会期は、本日1日といたしますので、これにご了承をお願いいたします。

◎市長あいさつ

○金子未咲希議長 日程第2、市長及び市議会議長から、あいさつのため発言の申し出がありましたので、許可します。

はじめに、富岡市長、マイクをオンにして発言してください。

○富岡勝則市長 子ども議会の議員の皆さん、こんにちは。朝霞市長の富岡勝則です。

本日は、市内の各小・中学校から代表として選ばれた、子ども議員の皆さんにご参加いただき、令和3年度の子どもの議会を開催いたします。

今回は、子ども議員の皆さんがそれぞれ通学している小・中学校と朝霞市役所にある議場とを繋いで、初めてオンラインで開催することになりました。このところ新型コロナウイルスについては、感染者数が一時期よりは大幅減ってきてはおりますが、まだまだ感染防止策を怠ることはできません。

コロナ禍でなければ、この議場にお越しをいただいて、演壇でマイクを使って発言するなど、議場の雰囲気を感じていただきたかったところではありますが、議場内では密になることから、感染リスクのことを考えた結果、今回はオンライン開催とさせていただきました。

さて、私が今いる議場ですが、年に4回、朝霞市についての問題や課題などを、市民の代表である市議会議員の皆さんと、私や市役所の代表の職員と一緒に話し合う市議会が開

かれ、課題解決に向けて、朝霞市が取り組む物事を決めさせていただいております。

子ども議員の皆さんには、これから質問していただきますが、学校の代表としてだけではなく、朝霞市民の代表として「朝霞市がこんな街になれば素敵だな」とか「なぜだろう」という疑問などを、皆さん自身の言葉で、緊張することなく堂々と伝えていただきたいと思います。私も、皆さんからの質問に精一杯お答えできるように、市の考え方を誠心誠意伝えさせていただきながら、皆さんと一緒によりよい朝霞市を作っていきたいと考えています。

また、本日は学校の先生方にもお力添えをいただきまして、誠にありがとうございます。このような取り組みは、皆様のご理解があって実現できるものでございますので、この場をお借りいたしまして、御礼申し上げます。

結びに、本日の「朝霞“未来・夢”子ども議会」が、実り多い議会となるよう、ご期待申し上げます。私からのあいさつといたします。よろしく願いいたします。

○金子未咲希議長 ありがとうございます。富岡市長は、マイクをオフにしてください。

◎市議会議長あいさつ

○金子未咲希議長 続きまして、石原議長、マイクをオンにして発言してください。

○石原茂市議会議長 皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、朝霞市議会議長の石原茂でございます。子ども議会の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、皆さん、学習活動にお忙しい中、子ども議会議員としてご出席いただきまして、ありがとうございます。

さて、昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症は、皆さんの生活に大きな影響を与えているものと思います。

朝霞市役所におきましても、市民の皆さんの暮らしを守るために新型コロナウイルスへの対応策をはじめ、市民が安全に、安心して生活することができるように、多くの施策を実施しております。

そして、市役所で行っている施策は、市民から選挙で選ばれた富岡市長と、同じく市民から選挙で選ばれた24人の市議会議員が、市民の声を受け止め、課題や問題点を議論しながら実施の方向性を決定しております。

本来、市議会の議論は、市議会の本会議場や委員会室で行いますが、今回の子ども議会については、感染拡大の防止のため、実施方法を検討し、オンライン会議での開催となりました。しかし、オンライン会議でも、朝霞市のこと、市民のことを真剣に考えているという皆さんの熱意は伝わるものと思います。

本日の子ども議会が、皆さんにとって、そして朝霞市の将来にとって、実りある時間になりますことを願って、挨拶とさせていただきます。皆さん頑張ってください。

○金子未咲希議長 ありがとうございます。石原議長は、マイクをオフにしてください。

○金子未咲希議長 続きまして、神田副市長、マイクをオンにして発言してください。

○神田直人副市長 副市長の神田でございます。今日は皆さん、子ども議会の場面で元気よ

く発言していただきたいと思います。緊張なさらず、元気よく発言して進めていただきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

○金子未咲希議長 ありがとうございます。神田副市長は、マイクをオフにしてください。

本日は他にも、答弁のため、朝霞市教育委員会の二見教育長にもご出席いただいておりますのでご紹介します。

二見教育長、マイクをオンにして発言してください。

○二見隆久教育長 子ども議員の皆さん、こんにちは。朝霞市教育委員会教育長の二見隆久です。

今日の子ども議会は、感染症対策のために、初めてオンラインで実施することになりました。皆さんは既に、各学校で配られたタブレットを使って学習をしたり、この9月には分散登校でお家と繋げてオンライン授業をしたりと経験していると思います。

今日は、各学校の代表として緊張せずに堂々と質問してください。私たちも、一生懸命その質問に答えたいと思っています。よろしくをお願いします。

○金子未咲希議長 ありがとうございます。二見教育長は、マイクをオフにしてください。

◎一般質問

○金子未咲希議長 日程第3、これより一般質問を行います。質問は、通告書に記載してある順に行います。

質問をする議員は、はっきりと皆さんに聞こえるように元気よくお願いします。また、答弁も明確にお願いします。

◇五百川 燎優 議員

○金子未咲希議長 それでは、1番、朝霞第一小学校の五百川燎優議員です。五百川議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

[五百川燎優議員、画面に登場]

○金子未咲希議長 それでは、質問をお願いします。

○五百川燎優議員 自由に参加できる桜まつりへ。五百川燎優。

国語の「私たちにできること」という学習で、友達と黒目川の桜まつりについて話題になりました。

僕の通う第一小学校の近くには、黒目川が流れています。この黒目川では、毎年桜が開花する時期に桜まつりが開催されます。そのお祭りには、小さい子が描いたちょうちんが飾られています。ある年、友達がお祭りに近所の人と出かけたとき、「あなたのは？」と聞かれ、友達は「ないよ」と答えると、近所の方は、とても残念がっていたそうです。その話をしてくれた友達は、きっと飾りたかったと思います。そこで、同じように自分のちょうちんを飾りたいと感じた人のために二つ提案をします。

一つ目は、ちょうちんを描きたい人が誰でも参加できる場所を設置するという提案です。例えば、子どもが集まりやすい児童館や公民館などに、ちょうちんを作る場所と提出する

箱を設置すると良いと思います。

二つ目は、自分で飾れるスペースを設け、桜まつり当日に飾れるというシステムです。期日を決めて、期日内に自分で飾りに行くということです。お祭りに訪れた人が参加できるスペースがあると、お祭りが盛り上がると思います。

また、この二つのような提案内容を広報あさかでお知らせすると、関心のある人の参加が増え、桜まつりにもにぎやかに、朝霞の春と言えば桜まつりというような代表のお祭りになるとと思います。

今までは、幼稚園や保育園に通う人のちょうちんしか飾られていなかったと思います。そのこと自体も知らなかった人もいるかもしれません。どうやったら自分のちょうちんが飾られるのかと疑問に思っていた人も、この二つのような提案が通れば、自由に参加できるようになると思います。桜以外にもいろいろな楽しみ方のできる桜まつりにしたいと思います。

私からの提案は、以上となります。

○金子未咲希議長 質問が終わりましたので、五百川議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、市長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○富岡勝則市長 はい、それでは答弁させていただきます。

自由に参加できる桜まつりについてですが、桜の季節に黒目川沿いで開催されるお祭りは、桜の季節に行われるため、よく「桜まつり」と言われることがありますが、黒目川は実は桜だけでなく、菜の花など他の花も楽しめることから実際の名称は「黒目川花まつり」と言い、主に商工会が中心となっておりますが、いくつかの団体で企画、開催をされています。

今回の五百川議員の提案ですが、市民の皆さんに黒目川をより身近に感じてもらうとともに、花まつりに彩を添える素晴らしい提案だと思います。

これまでの黒目川花まつりは、黒目川沿いにある小学校や保育園と協力をして、約200基の灯籠ですけれど、先ほど画像にもありましたが電線がついておりまして、電気を通して夜、ちょうちんになるわけですけれども、この灯籠の数を増やすには広い場所が必要となります。

また、自由に飾れるスペースを設けてほしいという提案ですが、今、申しあげましたように灯籠を設置する際は、このような電気工事が必要となりますので、専門の電気業者が工事を行っております。従って、当日誰もが自由に飾れるようにするのは、危険があるため少し難しいかもしれません。ただ、例えば、自由にイラストなどを描けるスペースなどを作ることはできるかもしれませんので、商工会に相談してみたいと思います。

今年も残念ながら中止となってしまいましたが、来年は、こういう状況であれば、開催も可能だと思いますので、五百川議員もお友達と是非、一緒に遊びに行っていたきたいと思います。

以上です。

○金子未咲希議長 答弁が終わりましたので、市長はマイクをオフにしてください。

以上で、1番、朝霞第一小学校の五百川燎優議員の一般質問を終わります。

五百川議員はカメラをオフにしてください。

◇相澤 陽人 議員

○金子未咲希議長 次は、2番、朝霞第二小学校の相澤陽人議員です。

[相澤陽人議員、画面に登場]

○金子未咲希議長 それでは、質問をお願いします。

○相澤陽人議員 公園に遊具を設置してほしい。相澤陽人。

皆さん、楽しい公園を思い浮かべてみてください。きっと遊具のある公園を思い浮かべ
る方が多いのではないのでしょうか。僕は、遊具がある公園を思い浮かべます。僕の家の近
くにも公園が二つあります。一つは、今言った遊具のある公園。もう一つは、ベンチしか
ない公園です。僕は、このベンチしかない公園に遊具を設置することを提案します。

なぜ、僕がこの提案をしたかというのと、先ほど言った、ベンチしかない公園に友達と行
って来たことがあるのですが、あまり人はいなく、代わりに禁止されているサッカーをし
ている人がいました。そのせいで、公園で遊べなかった状態の日が何日か続いていました
が、もう一つの遊具がある公園は、禁止されていることをしている人はいなくて、にぎや
かでした。そのとき、遊具があることによって、人が多く来て、安全に遊べると思ったか
らです。

公園に遊具を設置することによってできるメリットは三つあります。一つ目は、人がた
くさん来ることです。遊具や健康器具があれば、子どもから大人まで、にぎやかな公園に
なると思います。二つ目は、飽きないことです。遊具がないと、鬼ごっこなど、決まった
遊びしかできないので、すぐ飽きてしまうかもしれませんが、遊具があれば、いろいろな
遊びを考えることができるからです。三つ目は、安全に遊べることです。人が多いと、禁
止されていることをする人があまりいないので、安全に遊べます。

このように、公園に遊具を作ることには、たくさんのメリットがあります。また、遊具
のない公園は、僕が知っているだけでも四つあります。朝霞市全体を見ると、もっとある
と思います。そのような公園で、安全に遊べるように、遊具を設置することを提案します。

私からの提案は、以上です。

○金子未咲希議長 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、市長はマイクをオンに
して答弁をお願いします。

○富岡勝則市長 はい。それでは、お答えいたします。

ベンチしかない公園に遊具を設置してほしい、ということについてでありますけれども、
朝霞市には、都市公園と呼ばれる比較的大きな公園と児童遊園地と呼ばれる小さい広場が
合わせて128か所あります。このうち、相澤議員がご指摘のベンチのみの公園は、まぼ
りひがし公園、まぼりみなみ公園、宮台公園、谷中公園の4か所になります。

宮台公園と谷中公園の二つの公園については、根岸台3丁目にありました積水化学工業
の東京工場跡地を民間の会社が開発をして、整備後に市が譲り受けた公園です。

宮台公園はイベントなどで多くの人利用を想定しております。また、谷中公園は、防
災機能を持つ公園として災害時に一時的な避難場所としての利用を想定しております、

広場的な活用をするため遊具が設置されておられません。

また、まぼりひがし公園とまぼりみなみ公園については、根岸台5丁目の土地区画整理事業によりまして、用地を譲り受けた新しい公園であります。これからどのような公園にしていくか、整備に向けて今準備を進めております。今年の夏休み前に、第二小学校と第八小学校の皆さんにアンケートを配布させていただいたところです。

市が設置している公園の役割というのは非常に重要であると私も認識しておりますので、これからも公園を利用する皆さんに安全に楽しく公園を利用していただけるよう、また、相澤議員に楽しい公園をたくさん思い浮かべていただけるよう、より良い公園づくりに取り組んでいきたいと思っています。

以上です。

○金子未咲希議長 答弁が終わりましたので、市長はマイクをオフにしてください。

以上で、2番、朝霞第二小学校の相澤陽人議員の一般質問を終わります。

◇南 緋朗 議員

○金子未咲希議長 次は、3番、朝霞第三小学校の南緋朗議員です。南議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

〔南緋朗議員、画面に登場〕

○金子未咲希議長 それでは、質問をお願いします。

○南緋朗議員 ごみの分別をより身近に感じてもらうために。朝霞第三小学校、南緋朗。

「ちりも積もれば山となる」という言葉があるように、私たちが出しているごみを集めると膨大な量になり、社会問題にもなっています。ごみ問題の解決は持続可能な社会をつくるために不可欠であり、国や地域だけではなく私たち一人ひとりが取り組みを行うことも大切です。しかし、わくわくどーむやはあとびあなどの市の施設では、ペットボトルと缶が分けられていなく、片方のごみ箱があふれそうになっていることがあります。さらに、この写真のように文字が小さいことやペットボトルと缶のごみ箱の色が同じで遠くから見分けができず、その場ですぐに分別ができなくなっていることもあります。また、小さい子は文字が読めない可能性もあります。分別が正しく行われていないと、エネルギーは限られているため環境問題に繋がったり、埋め立て地に問題が出てきたりします。

これらの改善のため、市のキャラクターである「ぼぼたん」を描いたごみ箱を市で独自に設置することを提案します。具体的な案としては、このようなイラストを描いたらいいと考えています。これは、ごみ箱の種類によって、色や動きなどを変えたり、文字に付け加えて捨てるごみのイラストも描いたりしています。さらに、分別をしたらこのようなものに生まれ変わっているというイラストも加えて描いています。

これらを設置することで、遠くから見ても分別するべき種類がすぐに分かるようになります。また、文字が読めない小さい子でも分別できるきっかけになります。さらに、市に馴染みのあるキャラクターを使うことで、市民にとっても、ごみを分別して捨てることをより身近に感じることができると考えます。

私のクラスで、もとのごみ箱と提案したごみ箱のどちらの方が分別しやすいかというア

ンケートをしたところ、提案の方になりました。市民一人ひとりが意識してごみを分別できるよう、ぜひ検討していただけたらと思います。

私からの提案は、以上となります。

○金子未咲希議長 質問が終わりましたので、南議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、副市長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○神田直人副市長 はい。ごみの分別をより身近に感じてもらうために、「ぽぽたん」のイラストが描かれたごみ箱を設置してほしい、ということについてお答えします。

持続可能な社会をつくるために、ごみをきちんと分別して出していただくことは、限りある資源を有効に使うために非常に大切なことであると考えています。特に、缶やペットボトルは、新たなものを作るための材料としてリサイクルしやすいことから、市民一人ひとりが積極的に分別に協力していただくことで、ごみとして燃やしたり、最終処分場に埋め立てたりする量を減らすことができます。

南議員からご提案いただいたような、分別の表示を誰にでも分かりやすくすることや、「ぽぽたん」のイラストを表示することは、市民の皆さんが協力しやすくなる良い考えであると思います。今後、市がごみ箱を新たに設置する場合の参考にしたいと思います。

最近、地域的な集中豪雨など大きな被害が出るケースが多くみられます。また、異常気象などにより農作物にも大きな被害が出ています。このような中、未来を担う南議員のような方々が、環境という大きな問題に関心を持っていただくということは大変素晴らしいことだと思います。今後も身近な問題としてごみの分別に取り組んでもらえるように、啓発に努めてまいります。

○金子未咲希議長 答弁が終わりましたので、副市長はマイクをオフにしてください。

以上で、3番、朝霞第三小学校の南緋朗議員の一般質問を終わります。

南議員は、カメラをオフにしてください。

◇井上 稀衣 議員

○金子未咲希議長 次は、4番、朝霞第四小学校の井上稀衣議員です。井上議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

〔井上稀衣議員、画面に登場〕

○金子未咲希議長 それでは、質問をお願いします。

○井上稀衣議員 黒目川に第2のシンボルロードを。朝霞第四小学校6年、井上稀衣。

黒目川に第2のシンボルロードを作ることを提案します。

昨年、新型コロナウイルスが流行し始め、学校が休校になってしまいました。公園で遊ぶこともできなくなり、体を動かす機会が減ってしまったので、姉と一緒に黒目川沿いをランニングすることにしました。黒目川の土手は、ウォーキングやランニングをする人だけではなく、自転車で通勤する人もいました。そのときに思ったのですが、黒目川の土手はたくさんの人に必要とされている場所ですが、人が行き交うには狭く危ないなと思いました。そのときに思い浮かんだのがシンボルロードです。私は、図書館や駅を利用するときにシンボルロードをよく通りますが、とても広く快適です。それは、自転車の通る道と

人が歩く道が分かれていて、なおかつ道幅が広いので、歩いて散歩することもできるし、ランニングをすることもできるからです。そこで、私が考えた第2のシンボルロードがこちらです。桜の木の下でお弁当を食べたり、自分のペースで車椅子やベビーカーを利用したりすることができます。また、黒目川の土手沿いもウォーキングやランニングができ、なおかつ自転車も通れる、シンボルロードのような広い道に整えたら、たくさんの市民が気持ちよく安全に利用できると思います。

黒目川は、川もきれいで自然も豊かです。この自然を生かした美しい土手をもっとたくさんの人に味わってほしいと思います。そして、この土手が朝霞の第2のシンボルロードになれば、朝霞を好きになってくれる人がもっと増えると思います。自然を壊すことなく多くの人々が快適に利用できるように、私は黒目川に第2のシンボルロードを作ることを提案します。どうかよろしくをお願いします。

以上です。

○金子未咲希議長 質問が終わりましたので、井上議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、市長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○富岡勝則市長 はい。それではお答えいたします。自然を生かした美しい土手をたくさんの人に味わってもらえるよう、黒目川に第2のシンボルロードを作ってほしい、ということでもあります。

井上議員のご意見のように、新型コロナウイルスの影響によって、自宅で過ごす時間が増えたことで、憩いや潤いを与えてくれる公園や水辺などの屋外空間の充実が求められています。黒目川の遊歩道をシンボルロードのように、人や自転車がゆとりをもって通れる広い幅員の道に整えたらとのことですが、まず、第一に黒目川は、基本的に埼玉県が管理、整備をしていくことになっております。ただ、市も遊歩道については関わりを持っておりまして、その辺を頭において聞いてください。

市では、埼玉県や地域の皆様と連携した「黒目川まるごと再生プロジェクト事業」というものなどを実施して、主に橋の下のスロープやアンダーパスなどを設けたほか、桜を植えるなどして、上流から下流までを一体的に楽しめるように整備をしております。今年度は、埼玉県において溝沼黒目橋から新高橋の間、朝霞第三中学校の校舎の裏手に当たる所ですが、そのこの堤防をかさ上げするなどの防災対策も行っております。

また、朝霞らしい風景である黒目川の水と緑の景観を守って、地域の特性を生かした良好な景観づくりを重点的に進めるために、黒目川花まつりが開催されるなど多くの市民に親しまれている黒目川の中心地区を、シンボルロード周辺と同じように「景観づくり重点地区」に指定しました。そして現在、公園や緑地・道路といった屋外の公共空間が市民にとって快適で健康的な暮らしを支え、その機能や魅力が発揮できるよう「居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり」というものを進めています。

今月には、第三中学校脇にある溝沼池田橋付近、ここは第三中学校の第2グラウンドのところですが、そこにある桜の木の下に、黒目川の素敵な景観を望め、子どもからお年寄りまで誰でも憩える休憩施設「黒目川さくらテラス」を設置しましたので、近くを通った際には、是非利用してみてください。

市としましては、今後も埼玉県や地域の皆様と連携して、黒目川が市民に親しまれる美しい川であり続けるよう努力をしております。

井上議員の自分の住む町を愛し、関心を持ち、良くしたいという気持ちは大切なことですので、その気持ちをいつまでも持ち続けてほしいと思います。

以上です。

○金子未咲希議長 答弁が終わりましたので、市長はマイクをオフにしてください。

以上で、4番、朝霞第四小学校の井上稀衣議員の一般質問を終わります。

井上議員は、カメラをオフにしてください。

○金子未咲希議長 この際、休憩します。

ここで、私は議長の仕事をお任せさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

議事の進行を副議長と交代しますので、皆さんはそのままお待ちください。

(午後2時32分)

○高橋紗永副議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午後2時33分)

○高橋紗永副議長 ここからは、議長に代わり、小学生副議長の高橋紗永が議事の進行を務めさせていただきます。

よろしくお願いたします。

◇中村 匠汰 議員

○高橋紗永副議長 次は、5番、朝霞第五小学校の中村匠汰議員です。中村議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

〔中村匠汰議員、画面に登場〕

○高橋紗永副議長 それでは、質問をお願いします。

○中村匠汰議員 事故のない安全な通学路へ。中村匠汰。

近年、登下校の事故が増えています。今年の6月、千葉県八街市の小学生の列にトラックが突っ込み、2人が死亡、3人が重傷を負った事故が起きました。警察庁の統計によれば、小学生が歩行中に巻き込まれた交通事故の死亡者・重傷者は、過去5年間で2,734人のうち908人が登下校中の事故でした。朝霞市でも、自動車が交通ルールを守り、私たち児童が安全に登校できるような対策をお願いしたいと思います。

私の学校の周りの危険な箇所について、解決方法を二つ提案いたします。

一つ目は、朝霞第五小学校三原1丁目付近です。登下校時には、交通指導員さんがいて安全です。しかし、押しボタン式の信号だけであり、歩行者用信号が赤でも一時停止を守

らず、横断歩道を横切る自動車が多く、大変危険です。解決方法としては、交差点の道路を盛り上げて、車の速度を抑える「交差点ハンプ」を作ってはどうか。これにより、自動車の一時停止を促し、安全に通行できるようにしてほしいです。

二つ目は、弁財公園付近にある交差点です。一灯式信号はありますが、赤でも信号を無視して交差点を渡る車があります。近くには、学童保育施設があり、児童が安全に歩行するための対策は足りていません。

解決方法としては、新しく歩行者用信号機を設置すること、速度や交通量を抑える狭さく、ソフトポールの設置をすることで交通事故防止につながります。

私からの提案は以上です。交通事故をなくし、私たちが住みやすい街にしたいです。しかし、まずは、私たち児童が自動車などに気を付け、常に高い意識を持ち、安全に行動することが大切です。私が調べた他にも、見通しの悪い交差点があります。また、ガードレールが必要な狭い通学路も多くあります。

私は、車の運転手の人も、交通ルールを守り、私たちが安全に学校へ行ける通学路にしたいです。また、実際に、千葉県鎌ヶ谷市の東初富地区でも、ハンプや狭さくの設置で大幅な交通事故の減少につながった事例があります。朝霞市も、交通事故を減少させるためにご検討をよろしくお願いします。

以上です。

○高橋紗永副議長 質問が終わりましたので、中村議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、副市長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○神田直人副市長 はい。はじめに、三原1丁目付近の交差点について、道路を盛り上げる「交差点ハンプ」を設置してほしい、ということについてお答えいたします。

中村議員が考えるように、交差点ハンプは車両の速度抑制を促し、大変有効な交通安全対策であり、朝霞市でも第五小学校付近の生活道路内で、昨年度に2か所設置しました。

中村議員からご提案いただいた交差点へのハンプの設置について、新座市方面から浦和方面へ延びる宮戸橋通りは、街と街を繋ぐ道路としての機能を持っているため、このような道路にハンプを設置すると、振動や渋滞の発生などの影響があるほか、ハンプを避けるため学校周辺などの生活道路に進入する車が多くなることも予想されますので、ご提案の場所の交差点へのハンプ設置の判断は慎重に行う必要があると考えています。

次に、弁財公園付近の交差点において、歩行者用信号機やソフトポールを設置してほしい、ということについてお答えいたします。

中村議員がおっしゃるように、弁財公園付近の道路は抜け道として利用されやすく、交通量が多いことや通過車両のスピードの出しすぎが課題であります。

そのため、第五小学校の先生や警察の方、その他、地域にお住まいの方、交通安全の専門家の方などで話し合いを行い、一灯式信号機のある交差点には、交差点ハンプやソフトポールを今年の3月に設置しました。

また、歩行者用信号機の設置については、信号機の設置、管理の仕事は、警察で行っていますが、新しく信号機を設置するには、いろいろな条件がありまして、その一つに隣接する信号機との距離が原則として150メートル以上離れているという条件がありますので、ご提案の場所は、隣接する信号機との距離が150メートル以上離れていないため、設置は難しいかと思いますが、朝霞警察署と信号機の設置について相談してみたいと思います。

千葉県八街市で発生したような悲惨な事故が起こらないようにしたいという思いは、市も中村議員と一緒に、市役所内の関係する部署や小・中学校、朝霞警察署等と連携した緊急安全点検等を実施し、今後、できる限りの交通安全対策を市内各地で実施したいと考えています。

中村議員は、6年生で通学班の中でも下級生を守る立場にあると思いますので、今後も交通安全の意識を忘れずに、十分に気を付けて元気に登校していただきたいと思います。以上です。

○高橋紗永副議長 答弁が終わりましたので、副市長は、マイクをオフにしてください。

以上で、5番、朝霞第五小学校の中村匠汰議員の一般質問を終わります。

中村議員は、カメラをオフにしてください。

◇松村 直歩 議員

○高橋紗永副議長 次は、6番、朝霞第六小学校の松村直歩議員です。松村議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

[松村直歩議員、画面に登場]

○高橋紗永副議長 それでは、質問をお願いします。

○松村直歩議員 防災無線について。朝霞第六小学校、松村直歩。

今、朝霞市の防災無線は、コロナ対策、熱中症の警戒、行方不明者、学校がある日は小学生が帰る放送など、主に四つの防災無線放送があります。このような注意・警戒の放送は、市民の安心・安全を守るためにとても大切だと思います。ですが、注意・警戒の放送は、難しい言葉ばかりで逆に分かりづらくなっていることもあると思いました。特に、子どもには難しいと思います。私自身、大切な放送なのに、あまり聞かないこともありましたし、友達も同じようなことを言っていました。

そこで、多くの人にしっかりと放送を聞いてもらうためには、まずは防災無線放送に興味を持ってもらうことが大切だと思います。興味を持ってもらって、多くの人に聞いてもらうことができれば、よりみんなが安心して安全に過ごすことにも繋がるし、みんなの気持ちも明るくなると思ったからです。

まず、興味を持ってもらうために私が考えたのは、放送の内容を明るい話題にすることです。例えば、プラネタリアムが春の星座から夏の星座に変わったことや、朝霞市出身の人が活躍した話題などです。今年の東京オリンピックでは、朝霞市出身のバスケットボール選手、本橋菜子選手の活躍がありました。そのような話題を防災無線で流すことで、多くの人が嬉しい気持ちになったり、地域をもっと盛り上げたりすることができると思います。今、多くの人不安を抱えながらコロナ禍を過ごしています。明るいニュースで、少しでもみんなの気持ちが前向きになることを願います。

防災無線放送にもっと興味を持ってもらい、多くの人に聞いてもらうために実現化をお願いします。

以上です。

○高橋紗永副議長 質問が終わりましたので、松村議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、市長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○**富岡勝則市長** はい。それではお答えします。

防災行政無線の放送内容について、放送に興味を持ってもらって、多くの人に聞いてもらうために、明るい話題も流してほしい、ということでもありますけども、防災行政無線は、その名のとおり、災害が発生したときに、皆さんの命と安全を守る情報を伝えることが、最も重要な役割です。

また、皆さんの安全を守るために、小学校が終わる時間に合わせた「下校時の見守り放送」や、日が暮れる前に家に帰るための「夕焼け放送」についても放送しています。

ただ、音量が非常に大きいので、特にスピーカーの近くにお住いの方の中には、この音がうるさいと感じる方もいらっしゃいます。

そのため、朝霞市では、災害や人の命に関わる緊急放送以外は、できる限り回数を減らすようにしています。

松村議員が言われるように、防災行政無線の内容に興味を持ってもらって、多くの人に聞いてもらうことは、とても素晴らしいことだと思います。

そのためには、例えば、アニメの声優さんですとかテレビのアナウンサーなど、多くの方が知っている方に放送をお願いすることも、興味を持ってもらうための一つの方法ではないかと思います。

これからも、コロナ禍の中、不安を抱えながら過ごしていらっしゃる皆さんの気持ちが明るくなるような情報の提供ができるよう、いろいろと考えて実行していきたいと思えます。

以上です。

○**高橋紗永副議長** 答弁が終わりましたので、市長は、マイクをオフにしてください。

以上で、6番、朝霞第六小学校の松村直歩議員の一般質問を終わります。

松村議員は、カメラをオフにしてください。

◇**曾根高 楓 議員**

○**高橋紗永副議長** 次は、7番、朝霞第七小学校の曾根高楓議員です。曾根高議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

〔曾根高楓議員、画面に登場〕

○**高橋紗永副議長** それでは、質問をお願いします。

○**曾根高楓議員** 学校の図書室と市立図書館の連携について。曾根高楓。

私は、学校の図書室と市立図書館の連携について提案します。

私は、読書が好きなので学校の図書室でもよく本を借りています。しかし、私の通う小学校の図書室にある本は数が限られているため、読みたい本が見つからないことがよくあります。

学校の図書室と比べると市の図書館にはたくさん本があり、公民館などにある図書室に行くと、その場になかった本でもリクエストして、市内の図書館から取り寄せてもらうことができるので、朝霞市立図書館の本館や分館に行かなくてもいろいろな本を借りることができてとても便利だと思います。

これまで読みたい本が学校の図書室で見つからなかったときに、公民館などの図書室に行く時間がなくその本を読むことを諦めてしまったこともありました。学校の図書室が分館のように、市の図書館にある本をリクエストして借りることができるようになったらとても使いやすくなると思います。

このような理由から、学校の図書室で市立図書館の本をリクエストして借りることができるような仕組みを作ってもらえるよう、ご検討をよろしくお願いします。

以上です。

○高橋紗永副議長 質問が終わりましたので、曾根高議員は、マイクをオフにしてください。ただいまの質問に対し、教育長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○二見隆久教育長 はい。それではお答えします。学校の図書室でも、市の図書館にある本をリクエストして借りることができるようにしてほしい、ということについて、お答えいたします。

ご質問のとおり、どちらに保管している本でも、学校からリクエストできれば、便利でより多くの児童の皆さんに本を利用していただけるため、図書館を利用する人の便利さを考えるべきという曾根高議員のご質問につきましては、大変素晴らしいなと感心いたしました。

現在の学校図書館と市の図書館では、本を管理するコンピュータのシステムが異なっています。従って、学校で直接リクエストできるようにすることは、今のところ難しい状況です。

ただ、小・中学校の皆さんが読みたい本を読めるようにすること、これはとても大切だと思います。そこで、今後においては、学校図書館にいる図書館サポートスタッフさんなどの協力を得て、学校から市の図書館にリクエストができるようにし、図書館や公民館に行かなくても希望する本を学校で受け取って読めるようにならないか、調整していきたいと思えます。

なお、市の図書館の利用カードを持っていれば、お家のパソコンやスマートフォンから、図書館ホームページを開いて、見たい本を探し、その本を予約することもできます。予約した本は、お近くの図書館や公民館図書室で受け取ることができますので、それもぜひ利用してみてください。これからもたくさん本を読んでください。

○高橋紗永副議長 答弁が終わりましたので、教育長は、マイクをオフにしてください。

以上で、7番、朝霞第七小学校の曾根高楓議員の一般質問を終わります。

曾根高議員は、カメラをオフにしてください。

○高橋紗永副議長 この際、休憩します。

ここで、私は議長の任を解かせていただきます。ご協力、ありがとうございました。議事の進行を中学生の議長・副議長と交代しますので、皆さんはそのままお待ちください。

(午後2時49分)

○横山晃翔議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午後2時50分)

○横山晃翔議長 ここからは、小学生の議長・副議長に代わり、中学生の議長・副議長が議事の進行を行います。

中学生議長を務めさせていただきます、朝霞第一中学校3年の横山晃翔です。

○齊藤大也副議長 同じく、副議長を務めさせていただきます、朝霞第二中学校の齊藤大也です。

○横山晃翔議長 私たちが住み、暮らしているこのまち朝霞。その未来が、夢と希望に満ちた素晴らしい街となりますよう、引き続き活発な質問をお願いします。

◇安達 心咲 議員

○横山晃翔議長 次は、8番、朝霞第八小学校の安達心咲議員です。安達議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

[安達心咲議員、画面に登場]

○横山晃翔議長 それでは、質問をお願いします。

○安達心咲議員 預金通帳型読書通帳の導入。安達心咲。

私は本を読むのが好きで、図書館をよく利用しています。朝霞市の図書館が更に親しまれ活気のある場所になってほしいという思いから、預金通帳型の読書通帳の導入を提案します。

朝霞市の図書館には、既に読書通帳があります。しかし、紙に「通帳」と印刷されているものが配布されているだけです。この紙の通帳には二つの欠点があります。一つは、手書きということです。これは、書き忘れたり面倒に感じたりします。それではせっかくの読書通帳の楽しみが減ってしまいます。二つ目は、記入欄がすぐに埋まってしまうことで紙の通帳がいくつもたまってしまい、保管が大変になったり、紛失してしまうことです。ペーパーレスの時代に紙の無駄使いにもなります。

預金通帳型にすることで、二つの欠点が解決されるとともに、三つのメリットが期待できます。一つ目は、本を読んだ価値が目に見えることです。以前、5歳の子の読書通帳預金額が50万円というニュースを見ました。そこでは読書通帳に本の定価が印字され、その合計金額が分かります。合計金額が分かると、「読書をした時間が財産だ」と思えます。二つ目は、読書通帳をきっかけにもっと本を読もうと思う人が増え、図書館利用者が増えるということです。そうなれば、朝霞市が更に活気づくと思います。三つ目は、返却日を守る人が増えるということです。もっと読みたいと思う人が増えたら、次の本を借りるために、きちんと返却日を守る人が増えるのではないのでしょうか。

このように、預金通帳型読書通帳を導入すると、様々なメリットがあります。読書通帳

について調べたところ、すでに多くの自治体で導入されており、羨ましいなと思いました。私は、この提案が採用されることを願っています。

以上です。

○横山晃翔議長 質問が終わりましたので、安達議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、教育長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○二見隆久教育長 はい。現在の読書通帳を改め、預金通帳型の読書通帳を導入してほしい、ということについて、お答えいたします。

まずは、いつも読書通帳を使って、図書館をご利用させていただいてありがとうございます。また、安達議員から提案いただいた、改善することによって三つのメリットがあると伺って、図書館利用者の気持ちを考えた、素晴らしい視点に立った提案だなと感心いたしました。

これが読書通帳ですけど、読書通帳はこれまで読んだ本が分かるとともに、これからどのような本を読もうかという楽しみにも繋がると思っていますので、読書の好きな方にとっては大変大切なものであると考えています。

今、図書館は工事をしています。この工事の中で、12月にコンピュータシステムを入れ替える予定です。その際に、現在の読書通帳の形を変え、自分で通帳に記入するのが必要なくなるように、借りた本の題名や作者などの内容をシールに印刷したものをお渡しして、そのシールを通帳に貼りつけていただくことができないかなということを考えています。

今後、読書通帳の形を決めていく中で、安達議員にご提案いただいた、記入し忘れや紙の無駄使いなどのご意見を参考にし、現在の欠点を直して、もっと本を読もうという人が増えていただけるように、使いやすい読書通帳にしたいと思っています。

○横山晃翔議長 答弁が終わりましたので、教育長はマイクをオフにしてください。

以上で、8番、朝霞第八小学校の安達心咲議員の一般質問を終わります。

安達議員は、カメラをオフにしてください。

◇栗原 愛奈 議員

○横山晃翔議長 次は、9番、朝霞第九小学校の栗原愛奈議員です。栗原議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

〔栗原愛奈議員、画面に登場〕

○横山晃翔議長 それでは、質問をお願いします。

○栗原愛奈議員 朝霞市の学校のプールに屋根を設置することはできないか。栗原愛奈。

近年、猛暑により熱中症が多く発生しています。また、熱中症で命を落とすことも少なくありません。調べてみると、令和2年度では、熱中症により搬送された人は全国で6万4,869人。そして、熱中症による死亡者は112人でした。熱中症になる原因はいろいろありますが、その一つとして学校のプールには屋根がついていないことだと考えられます。例えば、学校のプールでは日差しが強い中で2時間ほど授業をしなくてはなりません。プールの授業では水分補給がこまめにできないので、熱中症になる確率が上がってしまいます。さらに、屋根がついていないと、肌が弱い人は日焼けで肌を痛めてしまう可能

性もあります。また、日差しを浴びたプールサイドはとても暑いので、足の裏をやけどしてしまう可能性もあります。そのようなことを解消するために、学校のプールに屋根を設置することができれば、熱中症にかかる可能性を減らせると思います。

そして、プールに屋根を付けることによって、以下のメリットがあります。熱中症防止、日焼け防止、雨が降っても実施できる、プールサイドが熱くならない、落ち葉などのごみが減るなどです。また、屋根が日陰となり、見学をしている人も快適に過ごせます。プールは雨が降っていると実施できないので、プールの授業数が減少してしまうこともあります。また、落ち葉などのごみがプールに浮かんでいると、水が汚くなってしまいます。ですが、一番の理由はやはり熱中症防止です。さきほども言ったように、プールに屋根をつけることで熱中症の可能性を減らせると思います。プールは広いので全体では無理でも、待機する場所にだけでも屋根がつくと、熱中症のリスクは減らせるのではないかと思います。

以上のことから、学校のプールに屋根を設置することを提案します。

○横山晃翔議長 質問が終わりましたので、栗原議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、教育長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○二見隆久教育長 はい。熱中症予防のため、学校のプールに屋根を設置してほしい、ということについてお答えいたします。

栗原議員が熱中症の現状を分析し、その上で、その対処方法について提案していただいたことに、大変感心いたしました。

現在、市内の小・中学校でプールに屋根を設置しているところはございませんが、日除けとなるような庇ほどの学校も設置しています。去年は、コロナ禍でプールの授業を行うことができませんでした。今年、プールの授業は再開されました。以前に、栗原議員の通う第九小学校からも、庇の中に児童が入りきらないのでプールの庇を大きくしてほしいと要望がありました。

ただ、プールに屋根をかけたり庇を大きくすることは、多大な費用もかかるため、すぐに行うことは難しいと考えています。今後は、今ある庇を活用していくことや、他の学校では簡易テントや小さめの運動会のテントをプールサイドに張っているところもあります。そうして日陰を作っている工夫をしていますので、どのような方法で対応ができるのか、学校と相談してみたいと思います。

教育委員会では、これからも児童の皆さんが気持ちよく学習できるように、教育環境の充実に努めていきたいと思っています。

○横山晃翔議長 答弁が終わりましたので、教育長はマイクをオフにしてください。

以上で、9番、朝霞第九小学校の栗原愛奈議員の一般質問を終わります。

栗原議員は、カメラをオフにしてください。

◇大縄 晟大 議員

○横山晃翔議長 次は、10番、朝霞第十小学校の大縄晟大議員です。大縄議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

〔大縄晟大議員、画面に登場〕

○横山晃翔議長 それでは、質問をお願いします。

○大縄晟大議員 タブレットをもっと活用したい。朝霞第十小学校6年、大縄晟大。

ついに、朝霞市にも国から配布されたiPadが届きました。どの学校も、活用していることだと思います。第十小学校では、このiPadをより活用してみたいという意見が多く出ました。そこで、三つのことを提案します。

一つ目は、iPad活用のプロに授業を行ってほしいということです。iPadを扱う技能を教えてもらうことで、様々なことに活用することができます。例えば、思い出の写真でアルバムの作成や、プログラミングを使用したおもちゃ作り等ができます。活用場面を増やすためにも、ぜひ、授業の導入をお願いします。

二つ目は、教科書をiPadの中に入れてほしいということです。現在、多くの教科書やノートを持ち運んでいます。それらはとても重く、転んでしまう危険性があります。私たちより多くの勉強をする中学生はなおさらです。デジタル教科書に変えることで、ランドセルの中身がこんなにも軽くなり、安全に登下校をすることができます。また、デジタル教科書は、映像を見たり音声を聞けたりするので勉強効率が上がります。安全面や勉強面を考え、iPadに教科書を入れてほしいと思います。

三つ目は、手紙をiPadに送ってほしいということです。現在、朝霞市から多くの手紙をもらっています。それらは、朝霞市をより知るための大切なツールです。一方、手紙の紛失や、お家の人に渡したきりになってしまうなどの現状もあります。手紙がiPadに送られることで、手軽に朝霞市の情報を知ることができます。そして、もっと朝霞市を好きになりたいのです。また、紙の削減にもつながり、その分の予算を、朝霞市のために使うことができます。ぜひ、iPadに手紙を送ってほしいと思います。

以上、三つのことを行い、iPadをもっと活用させていただけないでしょうか。さらに、これらの取組を通して、「情報に強い街、朝霞」として、より住みやすい街になってほしいと思います。

私からの提案は、以上です。

○横山晃翔議長 質問が終わりましたので、大縄議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、教育長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○二見隆久教育長 はい。iPadをもっと活用したい。情報に強い街、朝霞にしたいということについてお答えします。

タブレット端末は、これからは、鉛筆や消しゴムと同じように、学習の道具として、当たり前前に活用していくことが求められています。また、環境問題を考えて、ペーパーレス化に取り組むこと、これもとても大切だと思います。大縄議員のご質問は、いずれも、このような視点に立った、大変重要な内容であると考えています。

それでは、いただいた三つの質問について、順番にお答えいたします。

まず、1点目、タブレット端末ですが、児童生徒の皆さんが、より理解を深めたり、学習効果を高めたりするために、授業や様々な学習活動の中で活用するものです。そのため、先生も、より効果的なタブレット端末の使い方について勉強し、授業の中で積極的に活用

していきます。また、学校の先生だけではなく、ICTのことに詳しい専門家や地域の方をゲストティーチャーとして招いて、授業を進めることもあります。

次に、2点目についてお答えします。今、皆さんが使用している紙の教科書は、国から無料で配付されているものです。もし、デジタル教科書を導入すると、今の段階では新たに費用が発生することになります。また、紙の教科書を使用するか、デジタル教科書を使用するかは、児童生徒の皆さんにとって、場面場面で学習内容が理解しやすくなるか、あるいは充実した学びに繋がるか、という視点で考えていく必要があると思っています。今、文部科学省では、2024年度からのデジタル教科書の本格的な導入について検討しているそうです。教育委員会では、話し合いの内容を踏まえて、今後のデジタル教科書の導入や活用の仕方について、検討したいと思っています。

次に、3点目ですが、現在、教育委員会では、ペーパーレス化を進めており、各学校においても、学校配信メールを使って手紙の内容を送信したり、学校ホームページを使ってお伝えしたりしています。今後についても、手紙等の内容や、見やすさ、理解しやすさ等を考えて、紙で配付したり、ホームページでお伝えしたりしていきます。ただ、タブレット端末は、児童生徒の皆さんの学習用として活用するものですので、学習に必要なものについては、タブレット端末を使って送付していくことも考えていきたいと思っています。

以上です。

○横山晃翔議長 答弁が終わりましたので、教育長はマイクをオフにしてください。

以上で、10番、朝霞第十小学校の大縄晟大議員の一般質問を終わります。

大縄議員は、カメラをオフにしてください。

○横山晃翔議長 この際、休憩します。

ここで、私は議長の任を解かせていただきます。ご協力、ありがとうございました。

議事の進行を副議長と交代しますので、皆さんはそのままお待ちください。

(午後3時7分)

○齊藤大也副議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午後3時8分)

○齊藤大也副議長 ここからは、議長に代わり、中学生副議長の齊藤大也が議事の進行を務めさせていただきます。

よろしく願いいたします。

◇榎 美雲 議員

○齊藤大也副議長 次は、11番、朝霞第三中学校の榎美雲議員です。榎議員は、カメラとマ

イクをオンにしてください。

〔榎美雲議員、画面に登場〕

○齊藤大也副議長 それでは、質問をお願いします。

○榎美雲議員 朝霞第三中学校の榎美雲です。私が提案させていただくのは、朝霞台駅北口のロータリーでの違法駐輪についてです。

朝霞台駅のロータリーには、駐輪場でもないのにたくさんの自転車が駐輪されています。私もよく朝霞台駅を利用するのですが、人が通る歩道やコンビニエンスストアなどのお店の前に無断駐輪をしている自転車がが多く、歩行の邪魔になっています。これは法律に違反しているだけではなく、ベビーカーを持つ子育て中の親やキャリーバックを使用している高齢者の方々にはより影響が大きいと思います。また、この違法駐輪によって、朝霞市の景観にも傷がつくのではないのでしょうか。

北朝霞駅は、毎日、東武東上線と武蔵野線の沿線上に住む人の乗り換えの要所として利用されています。この違法駐輪は、公道だけでなく、シェアサイクリングいわゆるダイチャリ用の駐輪場にもとまっていることがあります。そもそも、なぜ違法駐輪をしているのか。それは、自転車の利用者に対して駐輪場の数が足りていないからだと思います。北口ロータリーには地下駐輪場がありますが、一時利用が定期利用のスペースと同じくらいないのが現状です。

以上のことから、私は二つのことを提案します。一つ目は、十分な駐輪スペースを確保することです。例えば、北口ロータリーの地下駐輪場の一時利用のスペースを広くしたり、朝霞台駅付近に、新たな駐輪場を設置します。もう一つは、違法駐輪をなくすために、立て看板を違法駐輪が頻繁に起きているところに設置して警告をすることです。違法駐輪をしている自転車を取り締まれば、ルールを順守された状態を保ち、他の諸犯罪の防止に繋がると思います。

私は、違法駐輪によって迷惑と思う人が出ないように、今提案したことを実行していただきたいと思います。

以上で質問を終わります。

○齊藤大也副議長 質問が終わりましたので、榎議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、市長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○富岡勝則市長 はい。お答えいたします。

違法駐輪を減らすため、朝霞台駅近辺に駐輪場を増設してほしい、また、違法駐輪が頻繁に起きている場所に看板を設置して警告してほしい、ということでございますが、現在、市では、駅利用者の利便性向上や放置自転車対策として、朝霞駅、朝霞台駅及び北朝霞駅周辺に、計10か所、約1万2,000台分の自転車駐車場と原動機付き自転車駐車場を整備しています。

しかしながら、榎議員がご指摘のとおり、朝霞台駅周辺には自転車が放置されていることも見受けられ、ベビーカーを持つ子育て中の方や高齢者の方にとっては、通行に障害となるような場面もございます。

そのため、市では、駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定して、放置自転車等対策指導

員を配置し、適宜、撤去を行っているほか、自転車を共有して利用するシェアサイクルを推進し、現在、利用状況の確認などを行っているところです。

このような状況の中、違法駐輪対策として、榎議員から二つのご提案をいただきました。まず一つ目は、地下駐輪場の一時利用のスペースを広くしたり、朝霞台駅周辺に新しい駐輪場を設置することについてです。

昨今のコロナ禍では、オンライン授業やテレワーク等の推進によりまして、自転車等駐車場の定期利用、一時利用ともに利用者が大きく減少しております。現在は、北朝霞駅東口地下自転車駐車場、朝霞台駅南口地下自転車駐車場ともに、駐輪スペースに空きがある状況でございます。

今後は、これまでの利用状況も確認しながら、駐輪場の定期利用及び一時利用の収容台数の配分の見直しを検討するほか、新たな駐輪場の整備については、駅周辺にまとまった用地を確保しなければならないという大きな課題がございますが、そのような土地があれば検討してみたいと思います。

次に、二つ目のご提案である、違法駐輪が多いところに立て看板等を設置して警告をすることについては、立て看板は人の目に触れやすく、警告をするには効果的な方法だと思いますので、早速、職員で朝霞台駅周辺の現地確認を行って、立て看板が設置できそうなところがあれば、設置していきたいと思います。

榎議員がお考えのように、違法駐輪を防ぐことで、人の意識が改善され、根本的には犯罪を減らすことに繋がると、私もそう思っています。榎議員には、様々なところに気付く鋭い観察力と、多くの人の立場を考えられる優しい心を大切にいただき、これからも朝霞市の未来を見守っていただければと思います。

以上です。

○齊藤大也副議長 答弁が終わりましたので、市長はマイクをオフにしてください。

以上で、11番、朝霞第三中学校の榎美雲議員の一般質問を終わります。

榎議員は、カメラをオフにしてください。

◇丹野 咲良 議員

○齊藤大也副議長 次は、12番、朝霞第四中学校の丹野咲良議員です。丹野議員は、カメラとマイクをオンにしてください。

[丹野咲良議員、画面に登場]

○齊藤大也副議長 それでは、質問をお願いします。

○丹野咲良議員 こんにちは、朝霞第四中学校の丹野咲良です。

私の提案は、熱中症予防のために体育館にクーラーを設置してほしい、ということです。その理由は二つあります。

理由の一つ目は、夏の体育館は窓やドアを全開にしても熱がこもり、とても暑いからです。また、バドミントンなど競技によっては、窓を閉め切らなければならず、時には体温を超えるように感じることもあります。この夏も熱中症を予防するため、熱中症警戒アラートが発表されましたが、環境省の熱中症予防情報サイトによりますと、熱中症の危険度

を判断する暑さ指数のうち、運動が原則禁止となる31℃以上の日が、例えば2020年の東京では29日ありました。

理由の二つ目は、朝霞第四中学校が朝霞市指定避難場所になっているからです。冬は毛布で寒さをしのげるかもしれませんが、夏はそうはいきません。たくさんの方が集まり、更に温度が上がれば、熱中症になるリスクが高くなっていきます。

数年前に、近隣の都立高校では、クーラーのない体育館で、生徒25人が熱中症になったというニュースがありました。報道によれば、「サウナのような感じだった」、「蒸し風呂のような感じだった」とのことで、このような体育館で活動をすれば、命に危険が及ぶと思います。

厚生労働省の発表によれば、熱中症での死亡者数は平成30年、令和元年とも1,000名を超えています。命に代えられるものはありません。私たちの周りから熱中症の被害をなくすために、体育館にクーラーの設置をお願いします。

○齊藤大也副議長 質問が終わりましたので、丹野議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、教育長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○二見隆久教育長 はい。熱中症予防のために、学校の体育館にクーラーを設置してほしい、ということについてお答えいたします。

朝霞市では、平成30年度から令和4年度までの5年間で、全ての小・中学校の体育館にエアコンを設置する計画を立てており、今年までに全ての10校の小学校と中学校2校に設置いたしました。丹野議員の通っている朝霞第四中学校と朝霞第三中学校、朝霞第二中学校には、来年度、エアコンを設置するように準備を進めています。丹野議員は、中3ということですから申し訳ないですが、来年には四中にもエアコンが設置されます。このエアコンを小学校から設置したのは、丹野議員のおっしゃるとおり設置の目的が、熱中症対策はもちろんですが、災害時の避難所としての防災機能を向上するためです。市内の小学校は、防災倉庫がある地域防災拠点となっており、最近では、令和元年の台風19号のときに、市内の小学校5校が避難所となって、多くの市民の方が避難されました。台風が通過するまでの間、非常に蒸し暑い状況の中でしたが、エアコンがあり快適に過ごせたということで、有効であったと考えています。今後も、児童生徒の皆さんが快適に学校生活を送れるように教育環境の整備に努めてまいります。

最後になりますが、丹野議員は、ご自身の提案をするときに、環境省のホームページや厚生労働省の発表や学校が市の避難所になっていること等を調べ、それらを結び付けて提案をされました。とても素晴らしいと思います。今後も是非、自分自身を取り巻く様々な事柄について、興味を持ち、調べるようにして、学習を深めてほしいと思います。

以上です。

○齊藤大也副議長 答弁が終わりましたので、教育長はマイクをオフにしてください。

以上で、12番、朝霞第四中学校の丹野咲良議員の一般質問を終わります。

丹野議員は、カメラをオフにしてください。

◇中野 栞 議員

○齊藤大也副議長 次は、13番、朝霞第五中学校の中野栞議員です。中野議員は、カメラ

とマイクをオンにしてください。

〔中野葉議員、画面に登場〕

○齊藤大也副議長 それでは、質問をお願いします。

○中野葉議員 朝霞第五中学校の中野葉です。朝霞第五中学校からの要望は、安全確保のために通学路に街灯を増やしてほしい、というものです。

朝霞第五中学校の周りには、私たち中学生をはじめ、小学生も通学路として利用している道があります。また、小・中学生だけではなく地域の方も利用しており、利用率がとても高い道です。しかし、宮戸辺りの道は街灯が少なく、とても暗いです。特に、通学路としての利用も多い写真1の宮戸4丁目の水道局沿いの直線や、写真2の小・中学生を含む地域の方々が利用する浜崎氷川神社付近は、多くの方が利用するにもかかわらず街灯が少ないです。

普段の下校時も暗くて危険ですが、冬場はより危険です。暗くなるのも早く、路面も悪くなってきているため、けがや事故の危険性が普段よりも高くなってしまいます。日中は安全な道も、暗くなると、明るいときにはすぐに気付けるような危険も見逃してしまいます。一日を通して交通量も多い道なので、車や自転車などとの事故を防止するためにも、街灯を増やし、明るい道にしていきたいです。

また、先ほど挙げた道路の周辺では、不審者情報もよく上がっています。そのために、日々不安な思いを抱えて道路を利用している人が、私の周りにも多くいます。街灯を増やし、明るい道となれば、不審者情報も減り、今よりも安心して利用できる道になるのではないのでしょうか。

ぜひ、街灯を増やし、安全に下校できるような環境整備を検討していただきたいです。

○齊藤大也副議長 質問が終わりましたので、中野議員は、マイクをオフにしてください。

ただいまの質問に対し、副市長はマイクをオンにして答弁をお願いします。

○神田直人副市長 はい。危険なけがや事故などを防止し、安心して利用できる道にするため、通学路に街灯を増やしてほしい、ということについてお答えいたします。

中野議員がお考えのように、通学路に街灯がたくさん設置してあれば、暗い道も明るくなり、皆さんも安心して利用することができるため、大変良いことだと思います。

ご指摘いただいたように、市内には街灯が少ない所や、暗い場所も確かにあります。基本的には、街灯を設置する場合に、電柱があれば、それを利用して設置できる可能性があります。中野議員にご提案いただいた場所も含め、必要な場所に設置できるようにしていきたいと思っています。

しかし、街灯の設置場所によっては、畑などの農作物の成長に悪影響が出て、農家の人困ってしまったり、夜なのに明るくなりすぎて眠れず体調を崩してしまう人も出てくるなどの問題もあります。街灯を新しく設置するときには、周りの人の意見を聞くことや、周辺の調査等が必要となります。

このように、やむを得ず、街灯が設置できない場合もあるので、登下校や塾の帰りは、できるだけ明るい道、人通りのある道を選ぶことや行き先や帰宅時間を家族に伝えることなどもしていただきたいと思っています。

中野議員のご意見を参考に、市はこれからも、地域の人たちと協力しながら、小・中学生の皆さんが不安にならないよう、安全で安心して登下校できるような環境整備をしてまいりますと考えています。

以上です。

○齊藤大也副議長 答弁が終わりましたので、副市長はマイクをオフにしてください。

以上で、13番、朝霞第五中学校の中野葉議員の一般質問を終わります。

中野議員は、カメラをオフにしてください。

○齊藤大也副議長 以上で、一般質問は全て終了しました。

この際、休憩します。

ここで、私は議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

次の日程の準備をしますので、ご協力をお願いします。

はじめに、市長・教育長は、カメラをオフにしてください。

次に、小学生議長、副議長、中学生議長は、カメラをオンにしてください。

(午後3時25分)

○横山晃翔議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午後3時27分)

◎子ども“未来・夢”宣言

○横山晃翔議長 ここからの進行は、再び、中学生議長の朝霞第一中学校の横山晃翔が務めます。

日程第4、これより、子ども“未来・夢”宣言を行います。

本会議に先立ちまして、本日、全員協議会を開催し、子ども議会の総意による「子ども“未来・夢”宣言」を採択しました。

その内容を、子ども議会を代表して、中学生、齊藤大也副議長、小学生、金子未咲希議長、小学生、高橋紗永副議長に宣言していただきます。

それでは、呼ばれた3人は、宣言をお願いします。

○齊藤大也副議長 私たちの住む「未来の朝霞市」は、すべての市民が夢や希望を持ち、明るく健やかに安心して暮らすことのできる、「私が 暮らしつづけたいまち 朝霞」であってほしいと願います。そして、「未来の朝霞市」を築いていく主人公は、私たち一人一人であると考えます。そのために、私たちは次の三つの街づくりに取り組みます。

○金子未咲希議長 一つ目は、自然との共生を図りながら、心やすらぐ住みよい街をつくります。

たくさんの動植物がいきづく自然豊かな朝霞の森や、街を流れるきれいな黒目川には、

市民が集い、花まつりの季節には、満開の桜に、みんなの笑顔があふれます。これからも私たちの大切な憩いの場である朝霞の自然を守りながら、自然と人間の生活が調和した、心豊かで暮らしやすい街にしていきます。

○高橋紗永副議長 二つ目は、市民の誰もが安心して生活できる、安全で整った街をつくり
ます。

私たちは、身近なところから交通ルールや公共のマナーを守り、事故や犯罪の防止につ
なげていきます。また、リサイクルをはじめとした、持続可能な社会発展を目指し、日頃
から地域の人々と協力して、通学路や街灯が整備された安心・安全な街にしていきます。

○齊藤大也副議長 三つ目は、人と人との思いやりの気持ちで助け合う、活気と学びのある
街をつくります。

オリンピック・パラリンピックが行われた街として、これからも、様々な文化や広い教
養に触れ、たくさんの方々と積極的に交流していきます。子どもから高齢者、外国の方な
どすべての人が互いを理解し、いたわり、助け合い、強い絆で、このコロナ禍を乗り越え、
生き生きと生涯に渡って学び、暮らすことのできる街にしていきます。

○金子未咲希議長 私たちは、朝霞市民として身近なところから、一人一人が努力し、三つ
の街づくりに取り組んでいきます。また、友達の気持ちを大切に、いじめを許さない
仲間づくりを進め、笑顔あふれる学校・社会をつくります。

○高橋紗永副議長 私たちが住むふるさと「朝霞」が、「夢と希望に満ちた朝霞」、「美しく
住みよい朝霞」、「人と人が結ばれた朝霞」に、さらに発展することを願って

○齊藤大也副議長 ここに「子ども“未来・夢”宣言」を宣言します。

令和3年10月23日、朝霞“未来・夢”子ども議会、中学生副議長、朝霞第二中学校、
齊藤大也。

○金子未咲希議長 小学生議長、朝霞第二小学校、金子未咲希。

○高橋紗永副議長 小学生副議長、朝霞第一小学校、高橋紗永。

○横山晃翔議長 市長・教育長は、カメラをオンにしてください。

以上が、令和3年度子ども議会における「子ども“未来・夢”宣言」です。

次代を担う私たちは、未来に向けた街づくりにおける自分たちの役割を自覚して行動し
ていきますので、市長・教育長におかれましては、引き続き、朝霞市が素敵な街となるよ
うに、市政を推進していただきますようお願いいたします。

◎閉会の宣告

○横山晃翔議長 これで、本日の日程は、全て終了しました。

子ども議員の皆さん、とても熱心に質問をしていただき、ありがとうございました。
富岡市長、二見教育長におかれましては、丁寧な答弁をいただき、ありがとうございました。

それでは最後に、子ども議員から、順番にお別れのあいさつをさせていただきます。

はじめに、一小から三小の子ども議員です。

〔金子未咲希議長、五百川燎優議員、高橋紗永副議長、相澤陽人議員、南緋朗議員、画面に登場〕

○横山晃翔議長 どうもありがとうございました。

次に、四小から六小の子ども議員です。

〔井上稀衣議員、中村匠汰議員、松村直歩議員、画面に登場〕

○横山晃翔議長 どうもありがとうございました。

次に、七小から十小の子ども議員です。

〔曾根高楓議員、安達心咲議員、栗原愛奈議員、大縄晟大議員、画面に登場〕

○横山晃翔議長 どうもありがとうございました。

最後に、二中から五中の子ども議員です。

〔齊藤大也副議長、榎美雲議員、丹野咲良議員、中野栞議員、画面に登場〕

○横山晃翔議長 以上で、「朝霞“未来・夢”子ども議会」を閉会します。

本日は、ありがとうございました。

(午後3時34分)

参 考 资 料

「子ども“未来・夢”宣言」

わたしたちの住む「未来の朝霞市」は、すべての市民が夢や希望を持ち、明るく健やかに安心して暮らすことのできる、「私が暮らしたくつづけたいまち 朝霞」であってほしいと願います。そして、「未来の朝霞市」を築いていく主人公は、わたしたち一人一人であると考えます。そのために、わたしたちは次の3つのまちづくりに取り組みます。

1つめは、自然との共生を図りながら、心やすらぐ住みよいまちをつくります。

たくさんの動植物がいきづく自然豊かな朝霞の森や、まちを流れるきれいな黒目川には、市民が集い、花まつりの季節には、満開の桜に、みんなの笑顔があふれます。これからもわたしたちの大切な憩いの場である朝霞の自然を守りながら、自然と人間の生活が調和した、心豊かで暮らしやすいまちにしていきます。

2つめは、市民の誰もが安心して生活できる、安全で整ったまちをつくります。

わたしたちは、身近なところから交通ルールや公共のマナーを守り、事故や犯罪の防止につなげていきます。また、リサイクルをはじめとした、持続可能な社会発展を目指し、日頃から地域の人々と協力して、通学路や街灯が整備された安心・安全なまちにしていきます。

3つめは、人と人との思いやりの気持ちで助け合う、活気と学びのあるまちをつくります。

オリンピック・パラリンピックが行われたまちとして、これからも、様々な文化や広い教養に触れ、たくさんの方々と積極的に交流していきます。子どもから高齢者、外国の方などすべての人が互いを理解し、いたわり、助け合い、強い絆で、このコロナ禍を乗り越え、生き生きと生涯に渡って学び、暮らすことのできるまちにしていきます。

わたしたちは、朝霞市民として身近なところから、一人一人が努力し、3つのまちづくりに取り組んでいきます。また、友達の気持ちを大切に、いじめを許さない仲間づくりを進め、笑顔あふれる学校・社会をつくります。

わたしたちが住むふるさと「朝霞」が、「夢と希望に満ちた朝霞」「美しく住みよい朝霞」「人と人が結ばれた朝霞」に、さらに発展することを願って、ここに「子ども“未来・夢”宣言」を宣言します。

令和3年10月23日

「朝霞“未来・夢”子ども議会」議員一同

「朝霞“未来・夢”子ども議会」

質問通告事項一覧表

令和3年10月23日

朝 霞 市

朝霞市教育委員会

件 名 及 び 要 旨

1 ^{いおかわ}五百川 ^{りょうま}燎優 **【朝霞第一小学校6年】**

1 自由に参加できる桜祭りへ

(1) 自分のちょうちんを飾りたい人のために、誰でもちょうちんを作ることができる場所を設置してほしい。

(2) 自分でちょうちんを飾れるスペースを設け、お祭り当日でも自由に飾れるようにしてほしい。

2 ^{あいざわ}相澤 ^{はると}陽人 議員 **【朝霞第二小学校6年】**

1 公園に遊具を設置してほしい

(1) ベンチしかない公園に遊具を設置してほしい。

3 ^{みなみ}南 ^{ひいろ}緋朗 議員 **【朝霞第三小学校6年】**

1 ごみの分別をより身近に感じてもらうために

(1) 市民一人一人が意識してごみを分別できるようにするため、ぽぽたんのイラストが描かれたごみ箱を設置してほしい。

4 ^{いのうえ}井上 ^{けい}稀衣 議員 **【朝霞第四小学校6年】**

1 黒目川に第2のシンボルロードを

(1) 自然を生かした美しい土手をたくさんの人に味わってもらえるよう、黒目川に第2のシンボルロードを作してほしい。

件 名 及 び 要 旨

5 ^{なかむら}中村 ^{しょうた}匠汰 議員 【朝霞第五小学校6年】

1 事故のない安全な通学路へ

(1) 三原1丁目付近の交差点について、車の速度を抑えるため、道路を盛り上げる「交差点ハンプ」を設置してほしい。

(2) 弁財公園付近の交差点について、歩行者用信号機やソフトポールを設置してほしい。

6 ^{まつむら}松村 ^{なほ}直歩 議員 【朝霞第六小学校6年】

1 防災行政無線の放送内容について

(1) 放送に興味を持ってもらい、多くの人に聞いてもらうために、明るい話題も流してほしい。

7 ^{そねたか}曾根高 ^{かえで}楓 議員 【朝霞第七小学校6年】

1 学校の図書室と市の図書館の連携について

(1) 学校の図書室でも、市の図書館にある本をリクエストして借りることができるようにしてほしい。

8 ^{あだち}安達 ^{みさき}心咲 議員 【朝霞第八小学校6年】

1 図書館の読書通帳について

(1) 現在の読書通帳を改め、預金通帳型の読書通帳を導入してほしい。

件 名 及 び 要 旨

9 くりはら まな 栗原 愛奈 議員 【朝霞第九小学校6年】

1 学校のプールへの屋根の設置について

(1) 熱中症予防のため、学校のプールに屋根を設置してほしい。

10 おおなわ せいた 大縄 晟大 議員 【朝霞第十小学校6年】

1 タブレットをもっと活用したい

(1) タブレット活用の専門家に授業を行ってほしい。

(2) デジタル教科書を導入してほしい。

(3) 市からの手紙をタブレットに送付してほしい。

11 えのき みくも 榎 美雲 議員 【朝霞第三中学校3年】

1 朝霞台駅付近の違法駐輪について

(1) 違法駐輪を減らすため、朝霞台駅近辺に駐輪場を増設してほしい。

(2) 違法駐輪が頻繁に起きている場所に看板を設置して警告してほしい。

12 たんの さら 丹野 咲良 議員 【朝霞第四中学校3年】

1 学校の体育館へのクーラーの設置について

(1) 熱中症予防のため、学校の体育館にクーラーを設置してほしい。

件 名 及 び 要 旨

1 3 ^{なかの} 中野 ^{しおり} 葉 議員 【朝霞第五中学校3年】

1 通学路における街灯について

(1) 危険なけがや事故などを防止し、安心して利用できる道にするため、通学路に街灯を増やしてほしい。

1 4 ^{かねこ} 金子 ^{みさき} 未咲希 議員 【朝霞第二小学校6年】

小学生議長

1 5 ^{たかはし} 高橋 ^{さえ} 紗永 議員 【朝霞第一小学校6年】

小学生副議長

1 6 ^{よこやま} 横山 ^{あきと} 晃翔 議員 【朝霞第一中学校3年】

中学生議長

1 7 ^{さいとう} 齊藤 ^{だいや} 大也 議員 【朝霞第二中学校3年】

中学生副議長

令和3年度
朝霞“未来・夢”子ども議会
会 議 録

令和4年2月発行

朝霞市 市長公室 市政情報課
〒351-8501
朝霞市本町1丁目1番1号
電話 048-463-3163